

# 旅立ちの地から日本の玄関口へ

荒川区長(東京都)

西川太一郎



### はじめに

荒川区は東京都の北東部に位置し、そのほとんどが平坦な地形である。区の面積は10・16km<sup>2</sup>と23区で2番目に面積の小さい区である。人口は昭和50年ごろから減少



橋本貞秀「日光御街道千住宿日本無類楠橋杭之風景本願寺行粧之図」

傾向にあったが、住宅開発が進んだこともあり、平成10年以降、人口は増加に転じている。鉄道網はJR山手線や東京メトロ千代田線など8路線が区内を走り、交通の利便性も高い。街道とともに

に鉄道網も整備された本区は都心へのアクセスも良く、住環境としても優れたポテンシャルを持っている。中でも、日暮里は成田空港から最短36分で結んでおり、「日本の玄関口」としても注目を集めている。

### 荒川区と日光街道

千住は日光街道最初の宿場町として栄えた地であり、また、徳川家康が隅田川に唯一架けた橋があることで知られている。本宿は現在の足立区千住にあったが、千住宿は川を挟んで両岸にあり、南千住も宿場町(千住下宿)として栄えた。昭和2年に架けられた千住大橋(現在は下り線として使用されている)には今でも「大橋」の文字が刻まれており、千住大橋が隅田

川に架かるただ一つの橋であった江戸時代初期を彷彿とさせる。

千住下宿のすぐ南、現在のJR南千住駅付近には、江戸の二刑場の一つである小塚原の処刑場があった。その跡地には延命寺があり、境内には江戸時代に建てられた「首切り地蔵」がある。その隣には「回向院」があり、刑場で処刑さ



素盞雄神社・矢立初めの句碑

れた者が埋葬された。杉田玄白らがターヘル・アナトミアの検証のために「腑分け」を行った場所としても有名である。江戸時代末期に処刑された橋本左内や吉田松陰も、一時この回向院に埋葬された。現在も橋本左内と吉田松陰の墓が回向院に残されている。

千住は旅立ちの地でもある。俳聖松尾芭蕉が元禄2年(1689年)旧暦の3月27日に千住大橋を渡って「おくのほそ道」の旅に出た「矢立初めの地」である。南千住



回向院



千住大橋

平成27年から訪日外国人数は急激に増加し、平成30年には初めて3000万人を突破した。本年開催されたラグビーワールドカップ、そして、来年開催される東京オリンピック・パラリンピック競技大会を受け、訪日外国人数はさらに増加することが見込まれている。国が目標とする令和2年に4000万人も現実味を帯びて

にある素盞雄神社には文政3年（1820年）に千住宿に集う文人たちによって建てられた、矢立初めの句を詠んだ松尾芭蕉の碑があり、前途三千里の旅を思わせる。今年芭蕉翁が「おくのほそ道」の旅に出てから330年の節目に当たり、芭蕉翁にゆかりのある33の自治体でさまざまなイベントが行われている。

### 荒川区の今とこれから

きている。

本区も例外ではなく、日暮里にある繊維卸問屋街は、近年、外国人から高い評価を受けており、訪れる外国人が急激に増加している。この繊維街を訪れるためだけに日本へ来る外国人もいるほどだ。

また、宅地開発も進んでおり、今後も人口は増加を続けていくことが予想される。併せて、宿泊施設も増えてきており、本区を訪れ、本区に滞在する訪日外国人も今後ますます増えていくことは想像に難くない。

他自治体で一部見られるような、住民と外国人観光客のトラブル等ははまだ見受けられないものの、人口、訪日外国人数ともに増



日暮里繊維街

加すると見込まれる本区においても、今後同様のケースが起きないとは限らない。区内経済の活性化の一助となる観光客の受け入れ体制の強化は、本区にとっても重要な課題である一方、区民の生活を不安にすることは当然許されない。区民一人一人が安心して幸福を実感しながら暮らすことができるまちづくりと、訪日外国人の受け入れ体制の強化の両立が今、本区に求められている。「幸福実感都市

### 一口メモ

## 五街道の一つ「日光街道」の要衝・千住宿

上野の寛永寺から続き、奥州へと延びる「日光街道」最初の宿場町・千住は、江戸から北へ向かう

交通の要衝で、千住大橋を境に、北側（現・足立区）を「大千住」「千住北組」、南側（荒川区）を「小千住」「千住南組」と呼んでいた。千住宿は、「東海道品川宿」「中山道板橋宿」「甲州街道内藤新宿」と並ぶ江戸四宿の一つに数えられ、幕府によって千住勤番が置かれるなど防衛拠点としての役割を担った。また、常陸国に至る水戸街道の分岐点として

も大いに栄えた。



企画協力…全国街道交流会議「街道交流首長会」

「あらかわ」の実現を謳う本区として、今後もこの課題に全力で取り組んでいきたい。余談であるが、本区は現在、荒川には面していない。古くは、隅田川の千住大橋付近から上流を「荒川」と呼んでおり、本区はその荒川に面していた。昭和40年に隅田川の隣を流れる荒川放水路が正式に荒川となり、それまで荒川と呼ばれていた隅田川の上流域が「隅田川」に統一された。